

県産食材で選手を応援

J A ぎふ、J A 全農岐阜が寄贈



県岐阜商業高校硬式野球部に県産の農畜産物を贈ったJ A ぎふの岩佐哲司組合長(右)とJ A 全農岐阜の林政和副本部長(左)＝岐阜市則武新屋敷、同校

子園で頑張ってきた」と感謝した。(篠田真穂)

ぎふ農業協同組合(J A ぎふ)と全国農業協同組合連合会県本部(J A 全農岐阜)は、第107回全国高校野球選手権大会に3年ぶりの出場を決めた県岐阜商業高校硬式野球部(岐阜市則武新屋敷)に、県産のコメやエダマメ、飛騨牛などを贈った。大会期間中の宿舍での食材として使われる。

J A ぎふは県産米ハッシモ60キ、岐阜えだまめ60袋、J A 全農岐阜は飛騨牛10キ、飛騨旨豚10キ、奥美濃

古地鶏20キ、飛騨トマト24キ、ペットボトルの美濃いび茶240本を寄贈した。同校で贈呈式があり、J A ぎふの岩佐哲司組合長、J A 全農岐阜の林政和副本部長がそれぞれ村上宏俊校長らに目録を手渡した。岩佐組合長は「暑い日が続くが頑張ってきてほしい」と、林副本部長は「県産の食べ物で、少しでも長い夏にしてほしい。夢の舞台を楽しんで」と励ました。同部の上畑将部長は「岐阜県の食べ物からパワーを得て、甲